

# 宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 令和元年11月20日(水) 午後5時30分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

## 会 議 日 程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について  
日程第2 会期について  
日程第3 報告  
日程第4 議案第20号 令和元年度宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書を作成するについて  
日程第5 議案第21号 令和元年12月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

会議に付した事項 会議日程に同じ

### 出席者

教 育 長 岸 本 文 子

(教育委員)

教育長職務代理者 加賀爪 毅

委 員 金丸公一

委 員 中筋斉子

委 員 小山栄子

(出席職員職氏名)

部 長 伊賀和彦 副 部 長 上道貴志

教育支援センター長 市橋公也 学校管理課長 三村 敦

教育支援課長 福山誠一 源氏物語ミュージアム館長兼歴史資料館長 西澤久美子

教育総務課副課長 吉川貴之 大久保青少年センター館長 山森浩平

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長 加藤冬子 教育総務課主任 前田圭祐

## 開 会 (午後5時30分)

**開会宣言** 教育長が11月教育委員会定例会の開会を宣言する。

**日程第1** 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、金丸委員を指名する。

**日程第2** 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

**日程第3** 報告

(1) 令和元年決算特別委員会について

(部局別審査：10月21日・総括質疑：11月6日)

(2) 文教福祉常任委員会について(令和元年11月7日)

第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画(初案)について

宇治市中学校給食基本構想について

令和元年度宇治市小中一貫教育についてのアンケートについて

(3) 令和2年度教職員人事異動方針及び実施要綱について

(4) 令和元年度京都府公立学校優秀教職員表彰被表彰者について

(5) 源氏物語ミュージアム正月臨時開館について

(6) 宇治市教育委員会後援事業について

以上6件を報告する。

---

[説明]

(1) 令和元年決算特別委員会について

(部局別審査：10月21日・総括質疑：11月6日)

部局別審査では、金ヶ崎委員から「教員の休職状況と復職状況について」「教職員の今後の働き方改革について」「現在の不登校児童・生徒について」の質問があった。

池田委員からは「特別支援学級への教員の配置」「教師間でのいじめやパワハラがあった場合の体制」「中学校給食について」の質問があった。

鈴木委員からは「スクールサポーターについて」「小中学校、幼稚園のブロック塀の撤去の状況」「AETの活動について」「少年補導員の活動について」の質問があった。

渡辺委員からは「小中学校の教材費」「30年度予算、決算について」「各学校の学校徴収金について」「図書館の図書購入費や蔵書冊数について」「教職員の市予算による配置に

ついて」の質問があった。

浅井委員からは「公民館のあり方について」「図書館の蔵書について」の質問があった。

角谷委員からは「図書館事業計画について」「これからの図書館について」の質問があった。

稲吉委員からは「中学校昼食提供事業について」「学校施設の安全点検について」「源氏物語ミュージアムのリニューアル、特にアニメの件について」の質問があった。

山崎匡委員からは「教職員の出退勤の管理について」「教職員の時間外勤務の実績について」「加配教員の状況について」「公民館の社会教育主事、担当職員の人数等について」の質問や、「中学校給食基本構想の中で、本当にセンター等で良いのか」との意見があった。

中村委員からは「不登校児童・生徒支援事業の予算、決算額の件」「給食の委託業務について」「LED化の効果について」「保健室以外の別室登校について」「学校の講師をどのように探しているのか」といった質問があった。

西川友康委員からは「教育部の30年度の決算の総括について」「青少年の電話相談のLINEの活用について」「学校施設の地域開放について」の質問があった。

10月29日の実地調査では、中央図書館を視察した。

11月6日の総括質疑では、うじ未来の角谷委員から「図書館事業計画の進捗状況とその評価について」「宇治市の図書館として、今後目指すべき図書館像をどのように描いているのか」といった質問があった。

同じく、うじ未来の西川友康委員からは「財政健全化推進プランの中で、中学校給食に関して市教委として、用地の確保に向けた考え方や意気込みについて」「目標時期をどう考えるのか、いつ頃になるのか」といった質問があった。

共産党の山崎匡委員からは「教職員の時間外勤務がどれほどになるのか」「時間外勤務が多い要因はどこにあるのか」「どうすれば改善できるのか、どう対応していくのか」との質問があり、「様々な取り組みを行うために人員を積極的に増やすべき」との意見があった。また、学校施設について「雨漏りの状況を把握しているのか」「学校環境の維持についての市教委の考え方」「今後の施設整備の進め方について」の質問があった。

同じく、共産党の渡辺委員からは「カーテンのクリーニング代等は学校の予算から支出できないのか」「学校徴収金を適正に運用されているのか」「改善されていないのであれば、学校の予算が足りないからではないのか」「もっと学校に予算をつけて改善すべきでは」との意見があった。

## (2) 文教福祉常任委員会について(令和元年11月7日)

### 第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画(初案)について

第2期宇治市子ども・子育て支援事業計画(初案)については、宇治市子ども・子育て会議における議論を踏まえながら、策定作業を行っており、この度、初案として取りまとめた。

計画の概要は、現在の計画を踏襲し、子ども・子育て支援法第61条第1項に基づき、子どもの貧困の視点から、本市の考え方を整理し、体系的にまとめ、子どもの貧困対策推

進計画として策定している。子どもの貧困対策推進計画については、国において、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的に、子どもの貧困対策の推進に関する法律が、平成26年1月に施行され、京都府においても、平成27年4月からの計画で、京都府子どもの貧困対策推進計画を作成している。こうした国や府の状況を踏まえ、子どもの貧困対策の視点から、体系的に施策を取りまとめることにより、今後、子どもが健やかに安心して成長できるための施策を推進する観点から、今回、子ども・子育て支援事業計画の策定に合わせて、宇治市子どもの貧困対策推進計画を策定することになった。計画期間については、令和2年度から令和6年度までの5年間である。また現在、初案に対してのパブリックコメントを行っている。

その中で教育に関する主な質問として「地域で小中学校の児童・生徒への支援はどういったことをしているのか」といったものがあった。

#### 宇治市中学校給食基本構想について

本件は10月15日の教育委員会会議において基本構想の構成を示し、意見を頂戴した後、初案として整理し、確認を経たものを文教福祉常任委員会に報告したものである。

徳永委員からは「工業系地域とはどの辺のことなのか」「そういった土地の価格はどれくらいなのか」「工業地域では災害時に浸水の恐れがあるのではないのか」「災害時の対応はどういったことを考えているのか」「民間活力導入とのことだが、災害時の炊き出しはどのようにしていくのか」という質問や、「避難する際にはセンターより自校のほうが炊き出しに適しているのではないのか」「そのようなことから親子方式の方が良いのではないのか」との意見があった。

鈴木委員からは「アレルギー対策はどういった形で行うのか」「現在の小学校にアレルギーの児童はどのくらいいるのか」との質問があった。

岡本委員からは「この計画は全校一斉での開始なのか」「時間割の変更等が必要になってくると思うが、学校現場とのやりとりはどうしていくのか」「栄養士の配置はどのようになるのか」との質問があった。

浅井委員からは「センター方式とのことだが、2か所との考え方はないのか」「民間活力、公設民営等をどうしていくのか」「栄養士の配置や、献立はどうするのか」との質問があった。

宮本委員からは「センター方式になぜ決めたのか」「親子方式なら小学校の給食室があるのですぐにはできないのではないのか」「現在の小学校の給食室の改善計画はあるのか」「センターの用地の用途はあるのか」「用地の用途はいつまでにしていくのか」との質問、意見があった。

#### 令和元年度宇治市小中一貫教育についてのアンケートについて

10月15日の協議会において報告したアンケート調査の結果である。

徳永委員からは「中一ギャップ軽減とのことだが、不安を乗り越える力が必要と考えるがどうか」「小学校の時に経験すれば高校でも気にすることはしないのではないのか」との質問

や意見があった。

岡本委員からは「分散進学について差異がないが、どのような取り組みをしているのか」との質問があった。

宮本委員からは「高校の生活に上手く付いて行けていない心配もあり、小中一貫を始めて8年目なので、現状を知る必要があるのではないか」との意見があった。

### **(3) 令和2年度教職員人事異動方針及び実施要綱について**

令和元年11月12日付で京都府教育委員会より令和2年度の教職員人事異動方針及び実施要綱が出された。

人事異動方針について、大きな改正はないが、令和2年度から新学習指導要領が順次全面実施されることを踏まえ、文言が整理された。

実施要綱については、「3異動基準」の「(2)一般教職員人事」の「オ」において、年金支給開始年齢の段階的な引上げに伴い、再任用原則化の期間が長くなり、退職者の増加が見込まれることを踏まえ、再任用期間を見通した人事異動に努める旨が追記された。

また、「ク」において、学校における働き方改革の実現や専科指導の効果を踏まえ、小学校における専科指導の推進を図るための人事配置に努める旨が追記された。

各学校長には、11月28日に校長会議を開催し説明する。日程については、3月17日内示、4月1日辞令交付の予定である。

### **(4) 令和元年度京都府公立学校優秀教職員表彰被表彰者について**

本制度は、平成14年度に創設されたもので、宇治市では、昨年度までに合計44名が表彰され、今年度は、西宇治中学校教諭の大石充士、宇治中学校教諭の池面圭吾の2名が受賞した。

なお、表彰式は、去る11月11日に京都産業大学むすびわざ館で実施され、府内38名2団体が表彰した。

### **(5) 源氏物語ミュージアム正月臨時開館について**

本市の観光振興及び地域の経済効果への寄与と、入館者数の確保を目的に平成10年度の開館当初から毎年正月臨時開館を実施し、今回で21回目を迎える。今年度は令和2年1月2日(木)3日(金)の2日間で通常より1時間遅い10時から開館し、閉館は通常通り午後5時で、観覧料は通常通りで、喫茶・土産品コーナーも通常通り営業する。

さらに、令和初の臨時開館となる今年度は、新作アニメ「GENJI FANTASY ネコが光源氏に恋をした」の今年4月からの公開を記念し、エントランスで、新作アニメ関連グッズが入った新春福袋を販売する。

福袋は、新作アニメ関連グッズ全11種類が入った「GENJIセット」3,000円、好きなクリアファイル1種類と好きな缶バッジ1種類を選べて、さらにシール2種類が入った「FANTASYセット」1,000円、アニメの主人公華と光二のクリアファイルと光二の缶バッジ、華ネコの肉球シールの3種類が入った「華ちゃんセット」870円

の全3種類であり、全て1日50個限定で、両日とも午前10時の開館から販売を開始し、売り切れ次第終了となる。

また、展示ゾーンでは企画展「宇治橋と橋姫」を開催する。情報ゾーンにおいては、誰でも参加できるワークショップ「ドットあつまる！きにしよう！」を、昨年度に引き続き実施する。

リニューアル後初の昨年度の正月臨時開館の2日合わせた有料ゾーン入館者数は880人で、過去2番目に多い数字となった。無料ゾーンを含めた総入館者数は2日合わせて1,276人で、1月の総入館者数の約17%を占めている。

---

[ 質 疑 ]

[ 委 員 ] 福袋の中身は、普段は個別に販売しているのか。

[ 事務局 ] 7月、8月のアニメの特別企画展に合わせて、1個300円で販売を開始している。現在は土日祝日のみの販売となっている。

**(6) 宇治市教育委員会後援事業について**

宇治柔道連盟主催の「第44回 宇治柔道大会」他10件、計11件の事業について後援した。

**日程第4 議案第20号** 令和元年度宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書を作成するについて

[ 説 明 ] 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成20年4月1日から全ての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務付けられた。このたび最終的な報告書としてまとめるにあたり、本委員会に諮るものである。

本報告書は、「本点検評価の趣旨及び対象と方法」、「教育委員会の活動状況」、「教育委員会の所管する事務事業の管理・執行の状況」の構成で作成されている。

「教育委員会の活動状況」は、教育委員会会議の開催状況、処理議案及び報告案件、また教育委員の研修・各種行事等への出席など、教育委員会の活動状況について記載している。

「教育委員会の所管する事務事業の管理・執行の状況」には、「宇治市教育振興基本計画」の施策体系を示し、「宇治市教育振興基本計画」14施策の目

標値・指標値の進捗状況一覧をまとめている。目標値・指標値の実績値だけの点検ではなく、目標値に対する進捗状況を自己評価することで、施策の進捗管理に努めた。平成30年度に実施した事業のうち主要な81事務事業についての個別票となっており、事業の取組状況や成果を取りまとめ、点検を踏まえて今後の課題や方向性を検証している。

なお、本報告書をまとめるにあたり、教育に関する学識経験者として、京都教育大学大学院連合教職実践研究科の竺沙知章教授、同大学教育学部の榎原禎宏教授の二人から、「本報告書(素案)」や、「宇治市の教育」などの関連資料を踏まえ、教育委員会活動及び主な81事業について、宇治市教育振興基本計画に基づき、課題整理や事業展開の方向性などについて、意見・助言等をいただいた。意見書については、本報告書の最後に添付している。

なお、本議案は議決いただいた後、宇治市議会に報告書を提出し、市民の皆様へは市のホームページに掲載し公表することとしている。

[質 疑] なし

[討 論] なし

[採 決] 採決の結果、全会一致で可決する。

#### 日程第6 議案第21号 令和元年12月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

教育長より、本件は宇治市議会提案前の案件であり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により非公開とする旨の提案があり、全会一致で決定する。

[説 明] 令和元年12月宇治市議会定例会提出議案として、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条に基づき、宇治市長から11月18日付けで意見を聴取されているもので、教育委員会としてこの内容に異議がないとするものである。

提出議案は、「令和元年度宇治市一般会計補正予算(第4号)」である。

大久保青少年センターの移転に伴う大久保幼稚園跡地の整備事業について、幼稚園の廃園後速やかに工事に着手する必要があることから、改修に要する経費として、1千2百万円の債務負担行為を設定するものである。

[質 疑] なし

